

## 天声人語

プロボクシングの人気者になつた黒人青年が、名前をカシアス・クレイから、イスラム風のモハメド・アリに変えた。白人優位を批判するイスラム教のグループの影響を受けて、改宗していた。奴隸にされた先祖が所有者から与えられた名前を返上する意味もあった▼改名は、強い批判にさらされる。彼は後に、作家のトマス・ハウザー氏に悔しそうに語っている。「もし俺が白人の思うようなもつとアメリカ的な名前が欲しくて……スマスとかジョーンズとかに改名したなら、誰も文句はつけなかつたらうよ」▼74歳で亡くなつたモハメド・アリ氏は、間違いなくアメリカの英雄であった。弾むようなフットワークと鋭いパンチで観衆を魅了し、みたび王座に就いた。しかしその生涯は、自分の国との距離を測りかねていたように見える▼アマチュア時代の1960年、ローマ五輪で金メダルに輝いた。誇らしく帰国したものの、レストランでは「黒人はおことわりだ」と言われた。屈辱と衝撃と孤独を感じたと、自伝にある▼ペトナム戦争に反対して徴兵を拒否し、王座を剥奪された。人びとが無益に死んでいくのが耐えられなかつた、と後に語つている。「すべての人が考えるべき抵抗だった……自由とは自分の信念を守ることができるということだ」▼アリ氏はかつて、試合相手をこきおろす弁舌で知られた。それは社会や政治にも向けられた。もう一つの重く鋭いパンチを、アメリカはどれだけ真摯に受け止めてきただろうか。

2016・6・5